

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	愛知江南短期大学
設置者名	学校法人 愛知江南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	こども健康学科 栄養専攻	夜・通信			8	8	7	
	こども健康学科 保育専攻	夜・通信			8	8	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ (http://www.konan.ac.jp/images/guide/practice21.pdf) にて公表。
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知江南短期大学
設置者名	学校法人 愛知江南学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (http://www.konan.ac.jp/images/guide/Director_list2021.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R1. 5. 31～ R5. 5. 28	産業界からの視点 での提言。
非常勤	私立大学（他法人）非常 勤講師	R1. 5. 29～ R5. 5. 28	学界からの視点で の提言。
(備考) 上記以外に商工会議所副会頭、株式会社役員、他 計3名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知江南短期大学
設置者名	学校法人 愛知江南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 以下の要領で作成したシラバスを第3者がチェックし、必要に応じて修正したものを科目担当者が初回の授業で配付し詳細に説明している。 【標題】 科目名や担当者名等のほか科目番号(ナンバリング)、該当DPを記述。 【到達目標と学修成果】 授業全体の目標と得られる成果を具体的に何ができるかを明確に示す言葉で箇条書きする。 【授業内容】 毎回の授業計画、学修のポイントや成果、キーワード、準備学習等を記述する。アクティブラーニングを行う回はポイントになるキーワードを記述する。 【授業の留意点】 受講するうえで特に注意することを記述する。 【授業外学習の留意点】 受講にあたって自宅で事前に準備すべき学習内容や復習等の取り組み方を具体的に記述する。 【評価方法】 成績評価の方法を具体的に点数化して記述する。 【担当教員からのメッセージ】 実務経験を生かした授業内容をより具体的に記述する。 【その他】 フィードバックの方法、教科書・参考図書などを記述する。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.konan.ac.jp/guide/policy.html にて公表。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位(履修)の認定は、科目ごとのシラバスに記載された評価方法に基づき、各々の成績を点数化し、学内で統一した評価基準により、秀：90～100点、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、59点以下を不可とし、厳格かつ適正に単位を授与している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>G P Aは、すべての履修登録科目のG Pを合計し、総履修登録単位数で割った平均値で、算出式は、$4 \times \text{秀の修得単位数} + 3 \times \text{優の修得単位数} + 2 \times \text{良の修得単位数} + 1 \times \text{可の修得単位数}$を足したものを、総履修単位数（不可の単位数を含む）で割った数値としている。</p> <p>G P Aを用いた学修支援は、基準となる数値を設け、退学の勧告や厳重注意、個別指導等に活用することを学生に周知している。また、半期ごとの成績通知書に自身のG P Aと学年・専攻の平均値を表記することで、クラスにおける自身の位置がおおよそ判断できる。なお、成績通知書は保護者にも送付している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.konan.ac.jp/guide/policy.htmlにて公表。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）は、学科の教育目標を達成するために設定された科目を履修し、「意欲・態度」、「知識」及び「技能・実践」の3本柱を基本に、専攻ごとにその基準を定め、学生便覧等に記載し学生に周知している。</p> <p>卒業にはG P A 1. 0以上が必要であり、成績不良の学生には、個別指導や厳重注意を与えるなどの学習支援を行い、すべての授業科目において単位（履修）認定終了した時点で、専攻ごとに行われる卒業判定会議の協議を経て卒業判定教授会において卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.konan.ac.jp/guide/policy.htmlにて公表。</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	愛知江南短期大学
設置者名	学校法人 愛知江南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.konan.ac.jp/images/guide/report2020.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.konan.ac.jp/images/guide/report2020.pdf
財産目録	http://www.konan.ac.jp/images/guide/report2020.pdf
事業報告書	http://www.konan.ac.jp/images/guide/report2020.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.konan.ac.jp/images/guide/report2020.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ http://www.konan.ac.jp/guide/disclosure.html にて公表。
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	こども健康学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.konan.ac.jp/guide/policy.html ）	（概要）子どもの健やかな成長・発達を援助すると共に、子どもをはじめ幅広い世代の健康を食の面から支えることができ、豊かな知識とコミュニケーション力を備えた専門職として、栄養と保育に携わることのできる人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.konan.ac.jp/guide/policy.html ）	（概要）教育目的を達成するために設定された科目を履修して所定の単位を修得し、以下の能力を身につけた者に短期大学士の学位を授与する。 DP1 意欲・態度：人と積極的に関わり、何事にも意欲的に考え、社会人としての倫理観・価値観を持ち、他者の人間性を尊重しながら、自ら行動できる。 DP2 知識：物事について観察し、考え、適切な判断ができる基礎知識を身につける。 DP3 技能・実践：知識や技術を場面に応じて適切に生かすことができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.konan.ac.jp/guide/policy.html ）	（概要）一人ひとりの学生の個性を尊重し、その伸びやかな成長を温かく見守り促していく短期大学教育を目指し、教育課程は一般教養科目と専門科目で構成される。 一般教養科目：社会人として豊かな人生を送るために必要な基礎的能力の育成を図り、自立して働き続ける意欲とその基盤となる学力を育てる。 専門科目：専攻別に中堅実務者に求められる知識・技能を身につけるとともに、様々な共同学習活動を通じて、協力して課題に取り組む態度を培う。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.konan.ac.jp/guide/policy.html ）	（概要）栄養士あるいは保育者（幼稚園教諭・保育士）をめざし、専門分野の特性をもとに、意欲的に学修に取り組むことができ、また、地域に貢献できる栄養と保育の専門職業人の育成を目標とし、1. 自分の将来の希望を実現するために学びたいという強い意志を持ち努力できる人 2. 社会人基礎力を獲得したい人 3. 人間性を高め、集団の中で共同できるようになりたい人 4. 高校までの基礎的な知識と表現力を身につけている人を広く求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ <http://www.konan.ac.jp/guide/disclosure.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
こども健康学科	—	7人	5人	3人	0人	4人	19
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			16人				16人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.konan.ac.jp/guide/disclosure.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
こども健康学科	0人	0人	0%	150人	131人	87%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	0人	0人	0%	150人	131人	87%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
こども健康学科	83人 (100%)	0人 (0%)	79人 (95.2%)	4人 (4.8%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	83人 (100%)	0人 (0%)	79人 (95.2%)	4人 (4.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスは、第三者がチェックし必要に応じて修正を行ったものを科目担当者が初回の授業で配付し、到達目標や学修成果、授業内容、授業の留意点、授業外学習の留意点、評価方法、フィードバックの方法、担当教員からのメッセージ等の項目について詳細に説明している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) シラバスに記載された評価方法に基づき、学内で統一した評価基準により厳格かつ適正に単位を授与している。卒業は、学科の教育目標を達成するために設定された科目を履修し、全ての授業科目において単位（履修）認定を終了した時点で、専攻ごとに行われる卒業判定会議の協議を経て卒業判定教授会において認定している。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	こども健康（栄養）	6 2 単位	有・無	単位
	こども健康（保育）	7 4 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ (<http://www.konan.ac.jp>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	こども健康	670,000 円	200,000 円	405,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 専攻ごとに選出した教員スタッフと学務課事務職員で構成する「教務委員会」を毎月1回以上開催し、学生支援部長及び教務委員長のもと、委員会の構成員と担任教員が連携して、履修登録、免許・資格取得及び卒業認定の指導に取り組んでいる。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 専攻ごとに選出した教員スタッフと就職課事務職員で構成する「キャリア支援委員会」を毎月1回以上開催し、学生支援部長及びキャリア支援委員長のもと、委員会の構成員と担任教員が連携して進路指導に取り組んでいる。また、1年後期に「キャリアデザイン」を必修科目として開講し、社会人としての基礎力の修得を目指す。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 専攻ごとに選出した教員スタッフと学務課事務職員で構成する「学生相談室委員会」を構成し、必要に応じて委員会を開催している。また、定期的に心理カウンセラー(学外)によるカウンセリングを行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ (http://www.konan.ac.jp/guide/disclosure.html)

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F223310107110
学校名	愛知江南短期大学
設置者名	学校法人愛知江南学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		20人	18人	20人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	14人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	0人	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				20人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。